

号外はインターネットの福島民報ホームページ (<https://www.minpo.jp/>) でもご覧になれます。

補立候補2人選知事

復興、経済活性化訴え 30日投開票

知事選立候補者(右から届け出順、敬称略。□は政党推薦)

内堀 雅雄 58

無所属 現知事

【経歴】長野県出身。長野高、東京大経済学部卒。総務省自治財政局地方債課理事官、県生活環境部次長、県生活環境部長、県企画調整部長、副知事
【現住所】福島市
【公約】①原子力災害からの復興・再生②「健康長寿県」の実現③産業振興による地域活性化や移住・定住の促進④子育て・教育環境の整備
【選挙事務所】福島市御山字中川原80の1▽総合選对本部長 菅野啓二

草野 芳明 66

無所属共 新団体役員

【経歴】郡山市出身。安積高、福島大教育学部卒。県立高教諭、県立高教組専従役員、郡山地方労連副議長、県立高教組県南支部執行委員
【現住所】須賀川市
【公約】①東京電力福島第1原発の処理水海洋放出の中止②全59市町村の学校給食費の無料化③県立高の統廃合方針の見直し④医療・保健所体制の強化
【選挙事務所】福島市五月町2の5一丁目ビル▽選对本部長 井上裕子

任期満了に伴う第22回知事選は13日に告示された。3選を目指す現職と新人合わせて2人が立候補の届け出を行い、30日の投開票に向け17日間の選挙戦に入った。

立候補したのは届け出順に、いずれも無所属の現職内堀雅雄氏(58) 自民、公明、立憲民主、国民民主各党の県組織が支援、団体役員の新入草野芳明氏(66) 共産推薦。

2期8年の内堀県政や東日本大震災と東京電力福島第1原発事故からの復興施策に対する評価、政府と東電が来春ごろの開始を目指す福島第1原発処理水の海洋放出の是非、急激な人口減少対策や新型コロナウイルス感染症対策、物価高など喫緊の課題への対応などが問われる。今後4年間の県政のけん引役を決める重要な選挙となる。会社経営の新人高橋翔氏(34) は13日、立候補の取りやめを表明した。